

共同組合事業委員会

公共事業推進委員会はH24年の春にできたばかりの委員会です。本委員会の目的は、ITC中部における公共事業の受注にあります。ITC中部として、今後事業活動を行うに当たり地方自治体はもっとも大きな顧客になると考えています。ITコーディネータ協会も、地方自治体に力を入れていることも鑑みると、これからITコーディネータが活躍する場になることは、疑う余地はありません。

その一方で、ITコーディネータ個人がいきなり地方自治体で仕事を

することも現実問題として難しい。そこで、ITC中部で事業協同組合を設立し、地方自治体からの仕事を受ける体制を来年度から開始していきたいと考えています。

その為に今年度は、事業協同組合の設立を始め、解決すべき問題点を洗い出し、具体的な解決をしていくとても重要な年度です。

是非、一緒に事業化に向けて取り組んでいただけませんか？

(公共事業推進委員 山本 健太)

事務局だより

こんにちは。ITC中部事務局長の山本です。私が事務局の仕事をできるようになり早1年半が経とうとしています。今回は事務局の仕事を紹介します。

仕事1: 会員管理 ITC中部に入会されている方の会員情報のメンテナンスを行っています。メーリングリストへの追加・削除も行います。データベースはSalesforceを利用しています。

仕事2: 会費の徴収 ITC中部の年会費の徴収。総会と一緒に入金していただく方が多い一方、総会に参加されない方からの年会費の徴収率が低いので定期的な督促をしています。

仕事3: 記帳 ITC中部の入出金を会計ソフトに登録しています。総会の時期は入金数が一気に増えるので登録は結構大変な作業になっています。地味な作業な割に重要です。

仕事4: 理事会の議事録作成 ITC中部の理事会の議事録の作成も行います。自分が発言していない時は黙々とメモを取りますが、議論が白熱するとメモを取るのをしばしば忘れがちになりますが・・・(^_^;

事務局では、事務局の仕事を手伝っていただける方を募集しております。ざっとご紹介した内容を見て、ご興味のお持ちになった方は、お気軽に声を掛けてください。

(ITC中部事務局 山本 健太)

NPO・ITC中部広報誌第19号 平成24年9月30日 発行

発行：NPO・ITC中部広報委員会(〒460-0022 名古屋市中区金山五丁目11-6 (NSC) 内)

発行責任者：NPO・ITC中部 理事長 和澤 功 編集責任者：NPO・ITC中部 広報委員長 秋山 剛

ホームページ(<http://www.itc-chubu.jp/>)

NPO・ITC中部 広報誌

架け橋

Vol.19

新理事長挨拶

このたび平成24年4月よりIT中部の理事長に就任しました和澤功です。皆様のご協力を得てITC中部を一層発展させるべく努力していく所存です。よろしくお願いいたします。

会員の皆様はITCの資格をいろいろな思いをもたれて取得されたかと思います。資格を活かした仕事の獲得、ITプロセスガイドラインなどの技術力の向上、業務への活用、人脈の拡大、など様々かと思います。そういった思いに少しでも寄与できるように、ITC中部の活動を展開したいと考えております。

皆さん委員会へ入りましょう!

ITC中部での活動の中心は、委員会活動です。今年度から体制も新たに広報委員会、ブランドデザイン委員会、ビジネススキルアップ委員会、マッチング事業委員会、協同組合事業委員会、渉外委員会がスタートしました。

委員会での活動を通じてスキルや見識を高めると同時に、広く人脈を得て深交を深め、それらを通じて仕事や人生に大きく役立つことにつながります。是非、会員の皆様にはどこかの委員会に入ってください、ITC中部の活動を共に支えていただきたいと思います。企業にお勤めであったり、都合で毎回出席出来ない方もおられるかと思いますが、各委員会ではそういったことも考慮した運営を行っております。皆さんの可能な範囲で、まず気軽に参加してみてください。委員会への参加は、ホームページから申し込めるようになっています。(詳細はITC中部のホームページを参照下さい)

ITC制度の意義をもう一度見直して!

ITC制度を原点に返って考えてみますと、ITCIは、企業とITベンダーの間に立って、企業が真に経営効果を上げられるように、効果的なITCプログラム(ITCプログラム)に沿って、経営戦略～ITシステム構築/評価/改善まで一貫して支援し、さらには日本経済全体の発展にも寄与するというものです。この崇高な理念を基本に持ち続けることによって、企業や社会にITCが真に認められることにつながります。ただ、理念だけではなく、各ITCがスキル/見識/人格などの面でも、自らを磨き、尊敬されるように高めていかなければいけないことはいうまでもありません。

ITC中部のさらなる活性化目指して!

ITC中部は現在約260名の会員によって構成されており、会員数ではITCAへの届出組織の中で最大規模です。また、企業内/独立系、ベンダー系/ユーザー系/税理士など専門家、と様々な方々で構成されています。そういった背景もあり、ITC中部に期待される内容も多様化してきております。



和澤理事長

今後の活動については、皆様の事情を考慮した活動を展開していきたいと考えております。そのためにも、多くの方々の委員会活動への参加が重要となります。

また、ITC中部の活動は、理事や委員会の皆さんの献身的な(奉仕)活動で成り立っていますが、持続可能性の確保のためには、組織活動が明るく/楽しいものであると同時に、予算面での強化も必要になってきています。

ITC中部の今後の主な活動方針!

① ITCの「ブランド」力UP

ITCという資格そのものの認知度・信頼度(ブランド力)を向上させていかなければなりません。経済産業省やITC協会と連携し、ブランド力向上を図ります。

② 事業展開の研究と準備

ITC中部が今後共に継続して活動を続けていくためには、現行の会員による年会費だけでは限界があり、有償教育や事業による収入(予算)が必要となってきます。今年度はそのために2つの事業委員会を設置し、研究と準備を行います。

③ 教育(スキルアップ)の多様化と充実

今年度はビジネススキルアップ委員会を中心に、研修カリキュラムを多様化し、その内容を充実します。

④ 内外の交流会の拡充

ITC中部の広報を兼ね、ITC中部内、全国のITC組織、企業に皆様、などとの交流の場を作ります。

⑤ 楽しさの「チャンス」創出

組織活動には楽しさも重要です。各委員会には1つ以上の楽しい企画をお願いしています。

皆さんと共に!

ITC中部をもっと楽しく、会員になっていて良かったと思える組織にしていきたいと思っています。そのためには皆様のご協力と参加いただくことが必要です。共にがんばりましょう。

(ITC中部理事長 和澤 功)

目次

新理事長挨拶

1

広報委員会活動紹介

2

ビズアップ委員会活動紹介

2

ブランドデザイン委員会活動紹介

3

マッチング事業委員会活動紹介

3

共同組合事業委員会

4

事務局だより

4

広報委員会活動紹介

広報委員会は、総勢18名の委員からなり、ITC中部の活動を広く会員に伝え、会員相互の親睦をはかることを目的として、「積極的でアクティブな広報活動の継続」の方針のもとに、以下活動を実施しております。

- 機関紙「架け橋」の発行
- 他地域のITC組織との交流会
- ゴルフ大会の企画／運営

「架け橋」の発行は年2回、各皆様からの寄稿により、WEB／紙面等でご提供を行っております。また、各地域におけるITC団体との交流会には、過去、北海道から、南は沖縄まで年1回その地域にお伺いし、各地域のITCの皆様と交流を深めております。昨年11月には福岡ITコーディネータ協議会様との交流会を開催、今年度はITC新潟の皆様との交流会を企画しております。各地域色があるITCの皆様とは、勉強会、セミナーなどの開催による交流、その後の懇親会での「飲みニケーション」による意見交換など、各地域のITC皆様との関係がより深いものになり、これからのITC中部における活動への参考になっております。また、ゴルフ大会におきましては、2回／年（春、秋）開催を予定しており、今年秋には第13回の開催を予定しております。皆様ふるってご参加いただきたくよろしくお願いいたします。

本委員会は、月1回、各広報委員の方々が18:30より集まり、架け橋発行、交流会、ゴルフ大会などの企画に関し意見を出し合っております。今年7月には広報委員会をいつもの名古屋市中から京都市で開催することで決定し、7月13日（金）、14（土）に祇園祭に合わせて広報委員会を開催しました。京都の町における文化に触れ今後のITC中部における広報活動をより向上させるべく意見を出し合い7月度の委員会も無事終了いたしました。

本委員会を通じて、会員皆様の親睦をはかり、ITC活動に少しでも



第12回架け橋会ゴルフコンペ開催写真



広報委員会in京都

お役に立ていただければと思っております。

今後ともITC中部の活動にご理解とご支援を賜れば幸いです。

(ITC中部 堀 正樹)

ビズアップ委員会活動紹介

平成24年度ITC中部総会・講演会が、平成24年6月16日（土）にウインク愛知1201会議室にて出席者93名ではほぼ満員の状況で下記次第で開催されました。

■総会

- ①ITC中部理事長挨拶
- ②総会議事
- ③新理事長挨拶・新年度の方針と体制の説明
- ④新委員長挨拶と各委員会の紹介

■講演会

- ①基調講演
1)中部経済産業局 情報政策課 杉山課長
「中部経済産業局の情報施策について」
2)ITコーディネータ協会 播磨会長
「ITコーディネータ協会の2012年度の活動方向とITコーディネータへの期待」

■特別講演

(株)ブイ・アールテクノセンター 航空宇宙生産技術中核人材育成プロジェクト

コーディネーター 川合 勝義様

「航空機産業の現状、今後の展望、航空機・自動車の異業種技術交流について」

総会においては、矢口理事長が議長として選任され、その上で、すべての議案が、原案通り承認可決されました。

総会終了後和澤新理事長より、今後の方針と新体制の説明が行われ、引き続き、各委員会の説明が行われました。

新体制では、播磨会長のご講演にもあったITCのブランド力アップとITCのビジネスにつながる委員会活動が期待されます。

川合氏の講演では、B787の例を交えて航空機構造の変遷や航空機業界の品質への取り組みが非常に厳しいものであることをご講演いただきました。杉山課長の基調講演の中の「中部地域ハケ岳構造創出戦略」にもございました航空機関連ビジネスは、他業種からの参入は品質保証面でも容易ではないことを改めて実感しました。

ビジネススキルアップ委員会(BizUP委員会)では、ITC中部の会員各位にポイントの取得支援はもとより、ITコーディネータとして必要な知識、スキル、人脈拡大を図る為の活動をしております。

年間を通じては

- IT活用されておられる企業への訪問
- 6月の総会講演会の企画実施(毎年約100名以上のご参加)
- 地域公共施設や、テーマパークなどの運営の見学
- 合宿形式や、土曜日開催の勉強会の実施(自主学習ポイント)
- ITコーディネータ協会後援セミナーの企画実施(年3回)

新しい企画として

- IT初心者向けのITスキルアップ勉強会も計画しております。

是非、BizUP委員会が企画しております、各勉強会・セミナーイベントにご参加頂きご出席メンバーと共に、自主研鑽頂ければ幸いです。

また、上記のようなBizUP委員会の活動に興味をお持ちの方は、委員会への参加をお願いします。

月1回程度 平日夕方 19:00～ 打合せ(自由参加)を行っております。

皆様のご参加をお待ちしております。

(ビジネススキルアップ委員会 委員長 木原 光章)

ブランドデザイン委員会活動紹介

ITC中部の皆様、こんにちは。ブランドデザイン委員会です。今年度よりITC中部企画委員会から名称を変更して活動しています。私たちの活動目的としては ITC中部、ITCの知名度向上、ブランド力UPを目指し、ITC中部会員様の交流を活性化し、皆様にITC中部を意義ある場所と感じていただけるよう、又ITC中部の会員で良かったと感じていただけるようにしたいと日夜励んでおります。

概ね月に一回会議を開催し、雑談も交えながら楽しく活動しております。参加者の中には三重県の伊勢市や静岡の浜松市、岐阜の養老等、遠方から参加している方もいらっしゃいますが、皆様積極的に参加していただいております。

今後予定している主な活動として、マッチング事業委員会とのコラボレーションを行い、ITC中部ホームページに ITC検索機能を付け加え、ユーザー様とITCとベンダー様の橋渡し役になるようなマッチング機能の構築、会員様の交流を深めていただくための名刺交換会、海外研修旅行などを企画中です。詳細が決まり次第ご案内させていただきますのでふるってご参加いただけますようお願い致します。

また、ITC中部のホームページにはコラムが掲載されています。非常に役に立つ内容が記載されていますので是非ご覧ください。FaceBookにも連動していますので、「いいね」をよろしくお願いします。また、皆様からの情報も募集しておりますので良い情報をお持ちの方、アピールしたい情報をお持ちの方はご提供ください。

最後になりますが、まだまだメンバーが足りません。ホームページの作成に興味のある方、何か企画して皆さんを楽しませたいアイデアをお持ちの方、取り敢えずポイントを稼ぎたい方等々、どなたでもご参加ください。ご希望の方はITC中部HP「各種委員会への参加申し込み」フォームからお申込みください。お待ちしております!!

(ITC中部 堀 哲也)



ブランドデザイン委員会 会議風景

マッチング事業委員会活動紹介

今年度よりITC中部にて収益事業を実施することとなり、その一環として「マッチング事業委員会」を発足しました。NPO法人で実施する事業であることから公益性・社会性を考えたソーシャルビジネスを推進していきます。当委員会の目的は

- ① IT活用が進んでいない中小企業に対しIT活用を推進し、IT経営を実現することで中小企業を元気にする
- ② 中部地域におけるITCの活動拠点として「食えるITC」を育て、ITCの知名度を向上させる
- ③ 自社のITを導入したいITベンダーに対し、ユーザー企業とのマッチングの場を提供し、提案の機会を増やす

の3つです。ユーザー企業・独立ITC・ITベンダーの3方にとって有益となる事業を目指しています。特にITC中部の会員で一番多い企業内ITCの方にも有益となるように、自社のPRの場と定年後等に独立ITCとしての活動の場を提供したいと考えています。

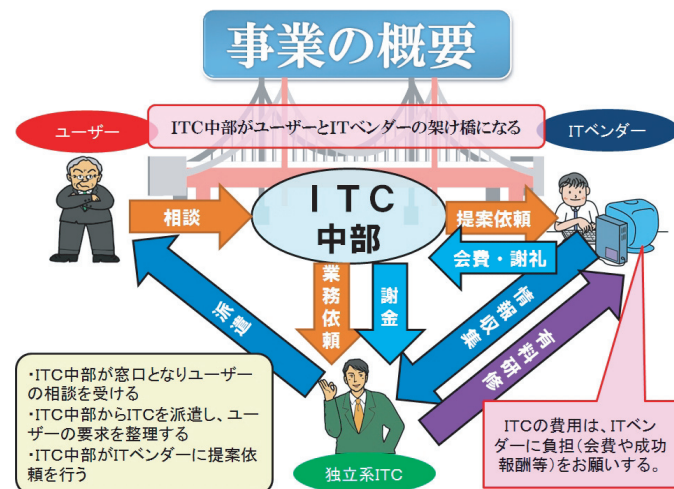
事業としてはITC中部がユーザーのITに関する困りごとの相談窓口となり、ITC中部から無料でITCを派遣してユーザーの要求を整理し、ITC中部を介して複数のITベンダーに提案依頼を行った上で、最適なITの導入を推進します。このような体制を構築し、ユーザーに広く知れ渡れば中小企業のIT化も推進され、ITCの活動の場も増えるものと思います。ここで一番の問題はITCを派遣する費用をどこから捻出するのかということです。現時点での案としては「ITベンダーに会員になってもらい毎年会費を徴収する」、「提案が採用されたITベンダーから成功報酬を頂く」等を考えていますが、多くのITベンダーの方に参加してもらうためにもまずはITC中部のブランド力のUP

が必須となります。

そのためにも本年度の活動はブランド力UPを目指してブランドデザイン委員会と共同でホームページの活用促進を進めていきます。またITベンダーの方と情報交換のためのメーリングリストを立ち上げ、最新のITソリューションの情報収集やRFP発行先の選定に活用できる体制を構築して行きます。

事業として成立するまでには未だ時間が掛かると思いますが、皆様のご協力をお願い致します。

(ITC中部 マッチング事業委員長 秋山剛)



マッチング事業の概要